

その他

2023年度 広国市民大学おしごと（職業）体験コース 「看護師のお仕事」開催報告

A report on work experience sessions for children conducted as part of
HIU extension courses open to the local community (Hirokoku shimin daigaku)

宮崎 朋子¹⁾, 白木 智子¹⁾, 石原 克秀²⁾, 山田 智子¹⁾, 乗越 健輔¹⁾

Tomoko Miyazaki¹⁾, Tomoko Shiraki¹⁾, Katsuhide Ishihara²⁾,
Tomoko Yamada¹⁾, Kensuke Norikoshi¹⁾

要 旨

広国市民大学おしごと（職業）体験コースでは、小学5年生から中学生を対象として、広島国際大学で学ぶことのできる様々な職業の業務内容を体験できる。2023年度、広島国際大学看護学部では、広国市民大学おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」として、聴診・脈拍測定の体験、点滴操作の体験、ナース服の試着体験を実施したため、ここに報告する。

キーワード：おしごと体験，職業体験，キャリア選択

Keywords：Work experience sessions for children, Career experience, Career choice

1) 広島国際大学看護学部看護学科 (Faculty of Nursing, Hiroshima International University)
2) 県立広島大学教育実践センター (Comprehensive Education Center, Prefectural University of Hiroshima)

I. はじめに

広国市民大学は、学生や教職員だけではなく、地域や社会の全ての人にとって「ともにしあわせになる学び舎」となることを目指し、2018年4月に開学した。2022年度には、広国市民大学おしごと（職業）体験コースが開講し、健康・医療に関わる仕事に関心のある小学5年生から中学生を対象に、広島国際大学で学ぶことのできる様々な職業体験を実施している。

2023年度、看護学部では「看護師のお仕事」と称し、聴診・脈拍測定の体験、点滴操作の体験、ナース服の試着体験を実施した。

本稿では、看護学部の実施した広国市民大学おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」の内容を紹介し、参加者の感想を報告する。

II. 2023年度 おしごと（職業）体験コースの概要

1. おしごと（職業）体験コースの詳細

2023年度のおしごと（職業）体験コースは、広島国際大学の学部・学科で養成している職業を体験し、また、その職業が世の中でどのような役割を果たしているかを学ぶことで、将来なりたい職業について、考える機会を提供するとともに、子どもたちの豊かな心と未来への関心を育むことを目的としている。対象は、健康・医療に関わる仕事に関心のある小学5年生から中学生で定員20名、講座内容の概要は、表1の通りである。講師は、それぞれの職業人を養成している学科教員である。

2. おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」の内容

参加者・教員・学生は白衣を着用し、参加者が医療現場のイメージができるよう実施した。体験前には、看護師の役割や職務の概要につい

て口頭で説明を行い、看護師の役割や職務の概要を知った上で以下の体験を行った。

体験では、参加者を2グループに分け、大きく2つの体験が出来るよう計画した。1つ目の体験は、聴診・脈拍測定であり、2つ目の体験は、点滴操作である。点滴操作ブースの時間内でナース服の試着体験も用意し、記念撮影コーナーも設置した。レイアウトについては、図1の通りである。

今回は本学で学ぶことのできる様々な職業体験10回コースのうちの1回であり、看護師の職業に興味がない参加者もいると考えられた。このため、看護師の職業に興味がない参加者でも出来るだけ看護師の職業のイメージが付き、看護師の職業の楽しさが伝わるよう構成した。おしごと（職業）体験コース全10回の概要は表1の通りである。

1) 聴診・脈拍測定

まず、心臓病診察シミュレータ「イチローⅡ（京都科学、京都）」を使用し、聴診器の使用方法や脈拍測定方法について説明を行った。聴診については、実際に心臓病診察シミュレータ「イチローⅡ（京都科学、京都）」の正常時の呼吸音や心音を確認し、音のイメージをつけた。脈拍測定については、どのように動脈に沿って指をあて脈を確認するのか説明し、実際に参加者の橈骨動脈を触知する流れとした。全体で聴診器の使用方法や音の確認、脈の触知方法について説明した後は、実際に聴診器を使用して、参加者や保護者の呼吸音や心音・腸蠕動音を聴取したり、全身の脈が触れる部分を探したりする内容とした。聴診担当に教員1名と学生1名をつけ、脈担当に教員1名と学生1名をつけ、参加者のサポートを行った。

表 1. おしごと（職業）体験コース全 10 回の概要

回	職業	講座名・概要
1	作業療法士	「作業療法士のお仕事」～「できる！」を増やす自助具を作ろう♪～ 利き手が動かなくなったら大変！治らない病気でも、便利な道具を作ったり、新たな方法を考えたりして「できる！」を増やす作業療法士。 一緒にお箸を改造して使いやすくしてみよう。
2	看護師	「看護師のお仕事」～やってみよう！ナースのおしごと～ 聴診器を使って体の音を聴いたり、点滴の準備をしたりしてみましよう
3	診療放射線技師	「診療放射線技師のお仕事」～診療放射線技師のお仕事を体験してみよう～ 病院で使われている医療機器を操作・体験し、診療放射線技師のお仕事と病院内での役割を知ろう！
4	社会福祉士	「社会福祉士のお仕事」～ひと・まちの 100 ストレngths を発見しよう～ 一人ひとりの強み(ストレngths)に着目し、福祉や保健医療サービスを繋ぐ相談援助のスペシャリストである社会福祉士のお仕事について一緒に体験しましょう。
5	薬剤師	「薬剤師のお仕事」～薬剤師になりきってみよう！～ 患者さんが使用している薬は、どのように調剤されているのでしょうか。調剤業務を体験し、薬の作り方を学びます。
6	救急救命士	「救急救命士のお仕事」～救急車内のお仕事体験～ 一次救命処置（心肺蘇生法）から二次救命処置（救急救命士特定行為：挿管、血糖測定等）の体験
7	臨床工学技士	「臨床工学技士のお仕事」～いのちのエンジニア 医療機器を操作・体験してみよう～ 病院で患者さんの治療に使われている医療機器を操作・体験し、「いのちのエンジニア」として活躍している臨床工学技士のお仕事と病院内での役割を知ろう！
8	理学療法士	「理学療法士のお仕事」～ストレッチ、エクササイズを体験しよう～ 理学療法士が実際に行う体の柔軟性・関節の動きや姿勢の検査・評価と筋肉のストレッチや筋力を増加するためのエクササイズを体験しましょう。
9	義肢装具士	「義肢装具士のお仕事」～筋電義手体験と足のギブス採型～ 筋肉が収縮した際の微細な電気信号で操作する義手を体験していただきます。そして義肢装具士が普段行うギブス採型を参加者同士の足を採型することで体験してもらい、足の石膏モデルを作り、持って帰ってもらいます。
10	管理栄養士	「管理栄養士のお仕事」～今日は何を食べる？自分に合った食事と量を知ろう～ 毎日の食事で、何をどれくらい食べればいいのか知っていますか。「食事バランスガイド」は、栄養価を計算しなくても自分に適した料理の組合せと量を知ることができるツールです。今回はこの食事バランスガイドと、自動的に栄養価計算ができるシステムを活用しながら食事内容を考えていただきます。

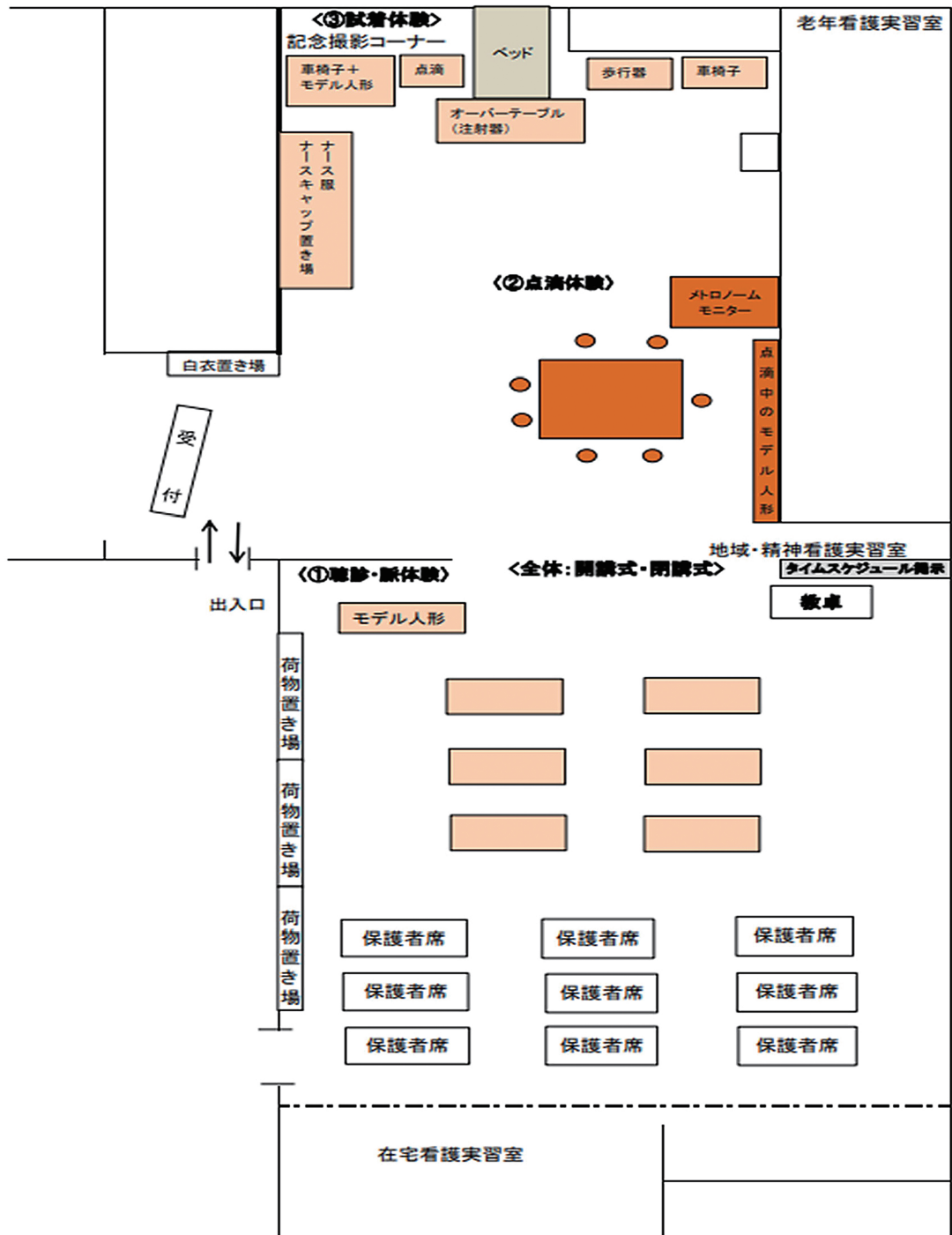


図1. 広国市民大学おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」レイアウト

2) 点滴操作

輸液ルート（輸液セット，三方活栓，エクステンションチューブ）が接続された輸液用生理食塩水を点滴台にセットし，学生がデモンストレーションを行い手技についての説明を行った後，実際に点滴滴下速度の調整や 20ml シリンジを使用して輸液ルートの三方活栓から水を投与する内容とした．点滴滴下速度の調整については，1 秒 1 滴で点滴が投与できるよう調整した．点滴滴下速度を調整する際は，視覚・聴覚のどちらでも分かりやすいようメトロノームアプリ「Simple Metronome and Tuner」をタブレット端末経由で 55 インチモニターに出力させ，1 秒に 1 回音が流れるよう配慮した．20ml シリンジを使用した輸液ルートの三方活栓からの水の投与については，視覚的に楽しめるよう絵の具で色を付けた色水を使用した．実際のイメージがつくよう，アルコール綿も用意し，実際の

手順を示した．点滴担当に教員 1 名と学生 1 名をつけ，参加者のサポートを行った．

3) 試着

ナース服やナースキャップを着用できるように準備を行った．また，記念写真を撮ることのできる撮影コーナーも用意した．撮影コーナーでは，注射器や点滴，車椅子や歩行器，ベッド等，看護師の職業がイメージしやすいよう物品も配置した．試着体験に教員 2 名（内 1 名は進行と兼務）をつけ，試着や写真撮影の補助を行った．

III. 結果

1. 参加者の学年と性別（図 2）

小学 5 年生（9 名）と小学 6 年生（2 名）であった．性別については，小学 5 年生は男子 4 名と女子 5 名，小学 6 年生は男子 1 名と女子 1 名であった．当日の様子は写真 1 の通りである．

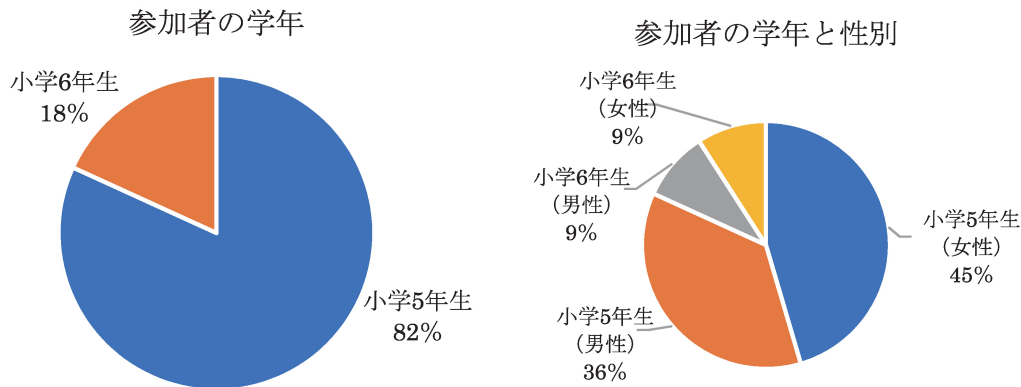


図 2. 参加者の学年と性別



写真 1. 広国市民大学おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」様子

2. 参加者からの感想

参加者からは、今回のおしごと体験を通して、「楽しかった」「難しかった」「初めての体験ができた」等の感想が聞かれた。

1) 楽しかった感想

「みんなを笑顔で楽しくして、すごく面白かった」「点滴の速さの調節や聴診器を使うことができて楽しかった」「実際に使われているものを使用して楽しかった」等、おしごと（職業）体験ができて楽しかったという感想がみられた。また、「注射器で色水を送るのが楽しかった」「点滴が入って混ざるのが面白かった」等、体験内容の工夫に対して楽しく感じていた感想が聞かれた。

2) 難しかった感想

「脈を測るのが難しかった」「命に関わるため微妙な調整が難しかった」「肺の音をきくのが難しかった」等の感想が聞かれた。

3) 初めての体験についての感想

「普段触れないものを触れた」「これまで体験したことのない体験ができた」「体験しながら学べた」等、今回のおしごと（職業）体験を通して、これまで体験したことのない体験ができたという意見があった。

4) その他

「実物をさわれ、とても貴重な体験になった」と感想があった。

IV. まとめ

近年、文部科学省では、小学生は「進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期」、中学生は「現実的探索と暫定的選択の時期」とし、キャリア教育の一環として、小中学生頃からの職場体験を推進している。今回実施した2023年度広国市民大学おしごと（職業）体験コース「看護師のお仕事」では、対象は小学5年生から中学生であったが、中学生の参加はなく、全員が

小学生であった。今後の職業選択への基盤形成となる大切な時期の職業体験であったと考えられる。

今回の体験を通して、参加者からは、体験を楽しく感じたことや初めての体験ができたことに対する感想が多く聞かれた。実際に使用している物品を使用したり、白衣を着用したりすることで、実際の看護職に近い体験ができ、楽しさや普段経験することの出来ない体験に繋がったことが考えられる。点滴操作の体験内では、色水を使用し、体験を視覚的にも楽しめるよう工夫した点も参加者の楽しさに繋がったと考えられる。また、参加者の中には、体験を難しく感じている参加者もいた。点滴操作の体験においては「命に関わるため微妙な調整が難しかった」との感想もあり、看護師の職務内容とその影響について体験を通して考えることが出来たためであると考えられる。聴診・脈拍測定では、「脈を測るのが難しかった」「肺の音をきくのが難しかった」等の呼吸音や脈拍測定の難しさを感じた参加者もあり、看護師の職業の専門性にも気付くことが出来たと考えられる。以上から、今回のおしごと（職業）体験を通して、看護師の職業についての理解が深まったと考えられる。

また、古賀（2008）は、家族と将来や進路について話す小学生と話さない小学生について「なりたい職業の有無」について調査し、家族と将来や進路について話す小学生の方が「将来なりたい職業がある」と答える確率が高い調査結果を示している。保護者も参加して実施した今回の体験は、家族と看護師の職業について話すきっかけとなると考えられる。

以上から、今回の参加者は全員が小学生高学年であり、職業意識に大きく影響を与える時期であると考えられる。その時期に看護師の役割と職務の概要について説明後、実際に現場で使われている物品を使用し、実際の看護師の職業

と同じように聴診・脈拍測定や点滴の操作等を行う中に楽しく体験できるよう工夫した体験は、看護師の職務内容とその影響や看護師の職業の専門性に気付く等、看護師の職業についての理解が深まったと考えられる。また、家族と看護師の職業について話すきっかけとなったと考えられる。次年度以降も地域に貢献できるようより一層努めていきたい。

引用文献

古賀正義 (2008). いま、小学生にとって「なりたい職業」とは, 児童心理臨時増刊 2008年2月号, 金子書房, 30-38.

文部科学省 (2005). 中学校職業体験ガイド 第1章 職業体験の基本的な考え方, 2023年6月26日引用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/026/001/001.htm.